



令和4年7月13日
内閣府地方創生推進事務局

未来技術社会実装事業（令和4年度選定）について

「未来技術社会実装事業」は、AI、IoTや自動運転、ドローン等の未来技術の実装による新しい地方創生を目指し、地方創生の観点から革新的で、先導性と横展開可能性等に優れた提案について、各種交付金、補助金等の支援に加え、社会実装に向けた現地支援体制を構築するなど、関係府省庁による総合的な支援を行うものです。

平成30年度より、未来技術社会実装事業として35事業の支援を実施しているところであり、選定事業ごとに地域実装協議会を組織し、社会実装に向けたワンストップ支援を実施しております。また、今年度は、スマートシティ関連事業として、提案の公募・採択・実施について関係府省一体で取り組んでおります。

今般、地方公共団体から応募のあった事業のうち、事業内容、期待される効果、地方創生への寄与（革新性、先導性、横展開可能性）等に優れた事業について、スマートシティ関連事業に係る合同審査会の評価を踏まえ、下記のとおり新たに選定しましたのでお知らせします。

今後、順次、選定事業ごとに、社会実装に向けた現地支援体制（地域実装協議会）を構築するなど、関係府省庁による総合的な支援を行ってまいります。

記

未来技術社会実装事業（令和4年度選定）：10事業

以上

【担当・問合せ先】

内閣府 地方創生推進事務局
金林、西山、大矢、岡本、福田、中村（03-6206-6175）

- <添付資料1> 未来技術社会実装事業（令和4年度選定）事業一覧
- <添付資料2> 未来技術社会実装事業（令和4年度選定）事業概要
- <添付資料3> 未来技術社会実装事業 概要

未来技術社会実装事業（令和4年度選定） 事業一覧

| No. | 提案者 | 提案タイトル |
|-----|-----------------|---|
| 1 | 岩手県盛岡市 | 未来技術チャレンジプラットフォーム『MULTI MONO MORIOKA』 |
| 2 | 茨城県 常陸太田市（※） | 自動運転の社会実装を見据えた MaaS×e コマース推進事業 |
| 3 | 長野県 塩尻市（※） | 塩尻型 MaaS×高度無人自動運転サービス社会実装プロジェクト |
| 4 | 三重県いなべ市 | 健康で元気な高齢者！！誰一人取り残されないデジタル社会の実現～高齢者が自然とデジタルを活用できる環境の構築～ |
| 5 | 大阪府河内長野市 | 「地域力」と「未来技術」の融合による「豊かな生活」実装モデル事業 |
| 6 | 大阪府豊能町 | コンパクトスマートシティパーク データダッシュボード |
| 7 | 兵庫県高砂市 | たかさご未来資産を貯めようプロジェクト |
| 8 | 奈良県 宇陀市（※） | 全世代が住み続けられるための移動手段の社会実装 |
| 9 | 和歌山県 かつらぎ町 | 交流拠点開設を契機に取組むメタバース技術を活用した持続可能なまちづくり事業～新たな関係性による DX 時代のまちづくり「かつらぎ町モデル」の実現～ |
| 10 | 鹿児島県 伊仙町（※） | 高齢者・障がい者向けの自動運転パーソナルモビリティ導入事業 |

（※）は、国土交通省道路局「内閣府未来技術社会実装事業と連携した自動運転サービス導入支援事業」対象事業
（都道府県・市区町村コード順）

令和4年度 未来技術社会実装事業 事業概要

事業概要

| | |
|--------|-------------------------|
| 提案タイトル | 全世代が住み続けられるための移動手段の社会実装 |
| 提案者 | 活用技術 |
| 奈良県宇陀市 | AI、自動運転、キャッシュレス |

■ 背景・課題

目指す
将来像

・全世代が住み続けられるための移動手段の社会実装

解決すべき
課題

・市内交通の維持確保

■ 実装を目指す主な事業内容

○事業：自動運転技術の導入

活用技術

事業概要

自動運転技術

・自動運転技術(レベル4)を活用し、高齢者の移動が多い日中の時間帯を中心に病院やスーパー等を複数回周回することにより高齢者の移動手段を確保する。



自動運転導入予定車両
(河内長野市提供写真参照)

○事業：通院・交通における予約の一元化

活用技術

事業概要

乗車予約
システム技術

・まず初めに乗車予約システム技術を活用し、市民病院にて次の通院の予約とともに、病院までの交通予約を同タイミングで行えるようにする。また次段階として、先行地域の一部地域に対して、試験的にタブレットを支給し、通院予約はもちろん行政情報等の地域情報の提供を行う。



通院・交通における予約の一元化イメージ図

○事業：キャッシュレス決済を活用した公共交通における利用促進事業

活用技術

事業概要

キャッシュレス決済を活用した公共交通における利用促進事業

・自動運転車両及び沿線を運行する路線バスを利用された方に、運賃の数パーセントを付与することで市内交通の利用促進を図る。



イメージ図

○事業：AI技術を活用した顔認証による見守り・防犯システムの導入

活用技術

事業概要

AI技術を活用した顔認証による見守り・防犯システムの導入

・安心・安全に暮らせるまちを実現するために、AI技術を活用した顔認証による見守り・防犯システムの導入を行う。



イメージ図